

急傾斜地で多発したがけ崩れにおいて 人家等への被害を軽減、防止(石川県穴水町 他)

5か年加速化対策
災害時の効果発揮事例

国土強靱化
NATIONAL RESILIENCE

効果概要: 令和6年1月能登半島地震により石川県を中心としてがけ崩れが多発したが、5か年加速化対策等により事前に整備した急傾斜地崩壊防止施設が効果を発揮し、人家等への被害を軽減、防止した。

対策名: 1-3 流域治水対策(砂防) <5か年加速化対策> 【国土交通省】

- 実施主体: 石川県
- 対策の概要: 急傾斜地崩壊防止施設の整備
(擁壁・落石防護柵 等)
- 事業費: 約1.8億円(穴水町波志借2号地区)
(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)1.1億円)



主な事業	実施内容	事業費	実施期間
急傾斜地崩壊対策事業	擁壁工	約1.8億円	R3~R7 (予定)
うち5か年加速化対策	擁壁工	約1.1億円	R3~R7 (予定)

がけ崩れを防止した代表箇所 (石川県穴水町波志借2号地区)

